

# SFTP を使用した Finesse のバックアップおよびアップグレードの設定

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[SFTP サーバのセットアップ](#)

[バックアップ](#)

[アップグレード](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

## 概要

このドキュメントでは、Cisco Finesse サーバとしてセキュア FTP ( SFTP ) サーバをセットアップする方法について説明します。また、バックアップ、アップグレード、およびトラブルシューティングの手順についても説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- SFTP サーバ
- Cisco Unified Voice Operating System ( VOS ) プラットフォーム用のコマンドライン インターフェイス ( CLI )

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco Finesse ソフトウェア、バージョン 9.1(1)
- freeFTPd SFTP サーバ

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。こ

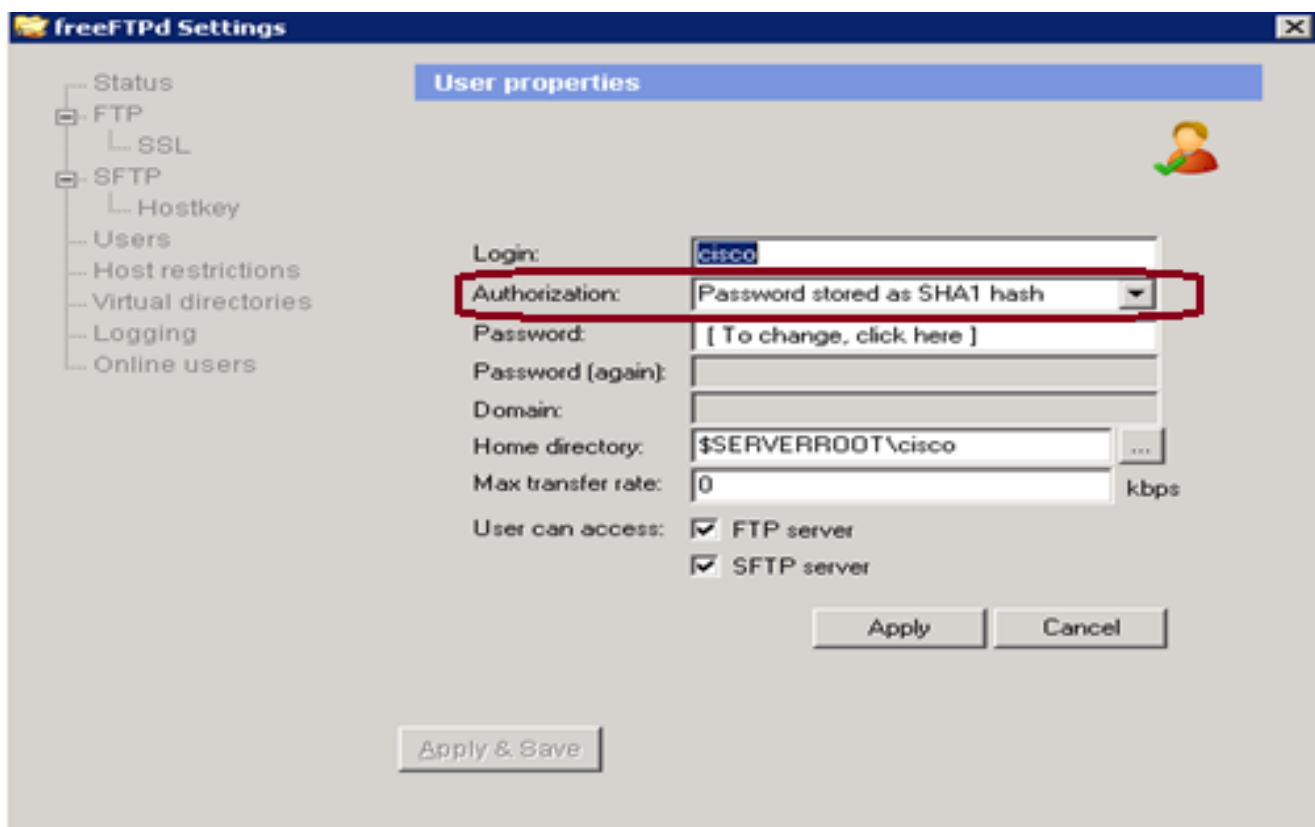
のドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

## 設定

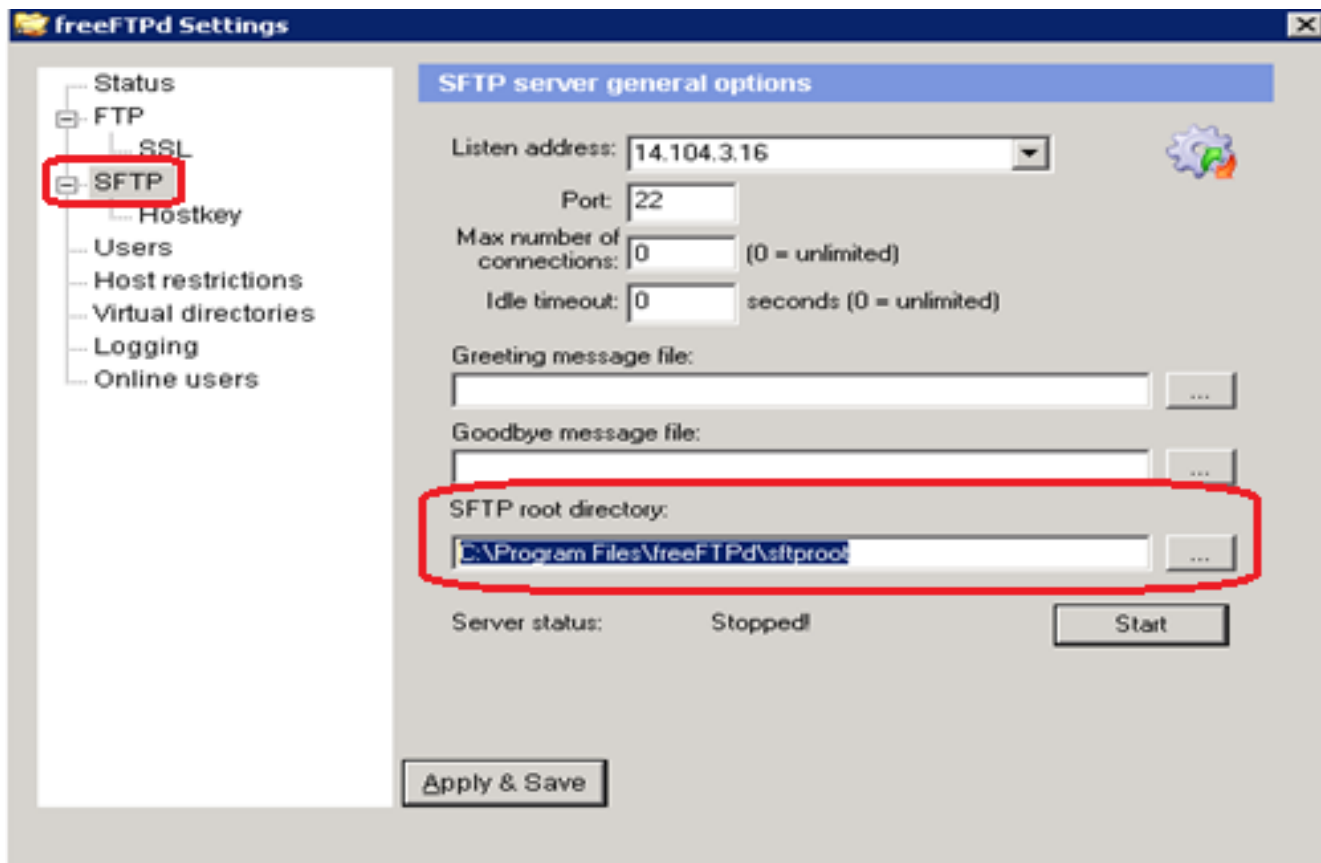
### SFTP サーバのセットアップ

この手順は、freeFTPD を使用してユーザを作成する方法と、SFTP のセットアップ、開始、および確認の方法について説明します。

1. [freeFTPD Settings] で、[User properties] に移動し、SFTP ユーザを作成します。そして、認可方式として [Password Stored as SHA1 hash] を選択します。



2. [freeFTPD Settings] で、[SFTP] セクションに移動し、SFTP がインストールされているワークステーション上のアクティブなネットワーク インターフェイス カード (NIC) を選択します。
3. SFTP ルート ディレクトリがデフォルトに設定されていることを確認します。



SFTP プロセスが開始されると、パス c:\Program Files\freeFTPd\sftproot に別のフォルダが、アカウントの名前で作成されます。デフォルトでは、このフォルダが、その特定のアカウントのルート フォルダになります。

4. SFTP を開始し、サーバが動作していることを確認します。



## バックアップ

Finesse は VOS プラットフォームにインストールされているため、Cisco Unified Communications プラットフォームで提供されるバックアップおよびリソースのツールであるディザスタ リカバリ システム (DRS) を利用します。

注: URL <https://<Finesse Server IP>:8443/drf> で、Finesse サーバの DRS アプリケーション

にアクセスできます。バックアップ/復元のページにログインするには、管理者ユーザアカウントの資格情報が必要です。

この手順では、バックアップ デバイスを追加し、バックアップを開始して監視し、バックアップデータを見つける方法について説明します。

1. SFTP サーバが動作しているワークステーションの IP アドレスを指定します。ユーザ名とパスワードは、SFTP のセットアップ時に定義されたものです。
2. ルート フォルダのパス名を「.」で定義します。フルパスを指定した場合は、SFTP が DRS アプリケーションに接続されません。

Select Destination\*

Tape Device

Device Name: -- Not Selected --

Network Directory

Host name/IP address: 10.131.45.140

Path name: .

User name: cisco

Password: .....

Number of backups to store on Network Directory: 2

3. バックアップ ページからバックアップを開始します。GUI から進捗状況を確認し、ログを収集できます。

Disaster Recovery System  
For Cisco Unified Communications Solutions

Navigation: Disaster Recovery System

administrator | Search Documentation | About

Backup | Restore | Help

Backup Status

Refresh Cancel

Status

Backup operation in progress for server [ORAFINESSE], please wait... ?

Backup details

Tar Filename: 2013-03-22-11-17-57.tar

Backup Device: NETWORK

Operation: BACKUP

Percentage Complete: 50%

Feature	Server	Component	Status	Result **	Start Time	Log File *
CCD	ORAFINESSE	PLATFORM	100	SUCCESS	Fri Mar 22 11:17:57 EDT 2013	2013-03-22-11-17-57 b orafinesse_ccd_platform.log
CCD	ORAFINESSE	CCMPREFS	100	SUCCESS	Fri Mar 22 11:17:58 EDT 2013	2013-03-22-11-17-57 b orafinesse_ccd_ccmprefs.log
CCD	ORAFINESSE	CLM	100	SUCCESS	Fri Mar 22 11:18:00 EDT 2013	2013-03-22-11-17-57 b orafinesse_ccd_clm.log
CCD	ORAFINESSE	CCMDB	100	SUCCESS	Fri Mar 22 11:18:01 EDT 2013	2013-03-22-11-17-57 b orafinesse_ccd_ccmdb.log
CCD	ORAFINESSE	PHX_RPT	100	SUCCESS	Fri Mar 22 11:18:26 EDT 2013	2013-03-22-11-17-57 b orafinesse_ccd_phx_rpt.log
CCD	ORAFINESSE	PHX_CONFIG	0	Active	Fri Mar 22 11:18:26 EDT 2013	
CCD	ORAFINESSETWO	PLATFORM	0	---	---	
CCD	ORAFINESSETWO	CLM	0	---	---	
CCD	ORAFINESSETWO	PHX_RPT	0	---	---	
CCD	ORAFINESSETWO	PHX_CONFIG	0	---	---	

4. バックアップが完了すると、データがルート フォルダの下に保存されます。

注: 実稼働時間外にバックアップ プロセスを実行します。DRS バックアップは、OPENFIRE プロセスを停止するように設計されているため、エージェントはログアウトします。Cisco bug ID [CSCuf51868](#)、「DRS バックアップにより Finesse のフェールオーバーが発生する」を参照してください。

## アップグレード

注: このセクションで使用されているコマンドの詳細を調べるには、[Command Lookup Tool](#) ( [登録ユーザ専用](#) ) を使用してください。

この手順では、Finesse をアップグレードする方法を説明しています。

1. CLI コマンド プロンプトで、`utils system upgrade initiate` コマンドを入力して Finesse をアップグレードし、SFTP の詳細を入力します。パスが「.」のみであることを確認します。

```
admin:utils system upgrade initiate
Warning: Do not close this window without first canceling the upgrade.
Source:
 1) Remote Filesystem via SFTP
 2) Remote Filesystem via FTP
 3) Local DVD/CD
 q) quit
Please select an option (1 - 3 or "q") : 1
Directory: .
Server: 10.86.177.72
User Name: cisco
Password: *****
Checking for valid upgrades. Please wait...
Available options and upgrades in "10.86.177.72:.":
 1) UCSInstall_CCD_9.1.1.10000-9.sgn.iso
 q) quit
Please select an option (1 - 1 or "q") : _
```

2. アップグレードおよびバージョンの切り替えが完了したら、CLI コマンド プロンプトで Cisco Security Agent ( CSA ) を無効にします。

注: URL `https://<YourFinesseServer>/cmplatform` を介して、アップグレードを実行するために GUI を使用できますが、これはサポートされていません。アップグレード時には Tomcat サービスがダウンするため、GUI がアップグレードの進行状況の更新を停止します。内部的には、アップグレードが問題なく続行されます。

## 確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

## トラブルシューティング

ここでは、設定のトラブルシューティングに役立つ情報について説明します。

注: 特定の show コマンドが [アウトプット インタープリタ ツール](#) ( [登録ユーザ専用](#) ) でサポートされています。show コマンド出力の分析を表示するには、アウトプット インタープ

リタ ツールを使用します。

アップグレードまたはバージョンの切り替えが失敗した場合は、ログを実行し、CLI の情報を収集して、問題のトラブルシューティングを実行できます。

```
admin: show version active
admin: show version inactive
admin: file get install desktop-install.log
admin: file get install install.log
```

場合によっては、Cisco Finesse リリース 8.5(3) から 9.0(1) へのアップグレード後に、バージョンの切り替えが失敗し、エラーが表示されます。

```
0000000014: 10.168.148.18: Mar 23 2013 16:47:31.640 +0000: CCBU_main-3-EXCEPTION
%[exception_id=java.lang.IllegalStateException: DBState is not new or
migrated]: An exception occured ; If this problem persists, Cisco TAC should
be contacted.
```

これは、データの破損が原因である可能性があります。これを回避するには、9.x を直接インストールします。